

放射線安全管理No.1の実績 6つの理由

放射線利用の現場で安全を確保し、放射線業務に従事するお客様の安心が担保されること。

このことを私たちはなにより大切なことと考えています。60年以上に及び実績と経験をベースに、先進の技術を集約したガラスバッジによる個人放射線被ばく線量測定サービス。お客様にとって、これ以上ない「安全と安心」に貢献します。

民間企業で唯一、 国際MRAの認定事業者

千代田テクノルは、放射線測定器等の校正業務を展開しています。弊社大洗研究所は、1995年計量法に基づく放射線分野の認定事業者(JCSS)として認定を受け、2003年には民間企業で唯一、国際MRA(相互承認協定)対応の認定を受け、お客様に「安心と信頼」の校正サービスを提供しています。



大洗研究所

国家標準との トレーサビリティ

弊社大洗研究所では、1972年に放射線照射室(場)を設け、以来、国家標準とトレーサビリティの取れた放射線の基準量を有しています。



2πγ照射装置

国内で最初に 個人線量測定を始めたパイオニア

1954年に国内で初めてフィルムバッジによる個人放射線被ばく線量測定サービスを開始し、以来、実に半世紀以上様々な個人放射線量測定器を開発。現在は、高精度の個人線量計「ガラスバッジ」でサービスを行っています。パイオニアとしての実績・経験を現在のサービスに反映しています。



国内最大の測定ライン (月間30万人の測定を実施)

弊社の測定センター(ラディエーションモニタリングセンター)では、ガラスバッジの組立・発送と受付・計測を最新のテクノロジーを集約させ自動化しています。現在、月間処理件数は38万個にも及び国内で最大規模を誇っています。なお、ガラスバッジによる測定値のご報告は実に延べ6,000万件を超えるまでになっています(2018.04)。



測定センター
(ラディエーション
モニタリングセンター)

放射線安全利用に関する 業務全体でISO9001の取得

放射線安全利用に関する業務全体の品質管理・品質保証の部門でISO9001を取得しています。これにより、品質マネジメントシステムの効果的な実施、顧客満足の達成や向上を図ることを目的としています。弊社では、ISO9001の取得によって、より高い品質のガラスバッジサービスの提供を心がけています。



ISO9001登録証



ISO9001付属書

放射線に関わる総合的な 安全管理サービスを提供

個人放射線被ばく線量測定だけでなく、サーベイメータ、エリアモニタなど各種測定器の販売も行っており、作業環境測定サービスや環境用ガラスバッジを用いた環境線量測定サービスも展開しています。パイオニアとして蓄積してきた技術力やノウハウを総合的な放射線安全管理サービスに集約させ、お客様に「安全と安心」をご提供しています。



千代田テクノル
本社ビル

※本カタログに記載された製品名は弊社の商標および登録商標です。 ※本製品は改良のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

商品に関するお問い合わせ先

株式会社 **千代田テクノル** 線量計測事業本部 〒113-8681 東京都文京区湯島1-7-12 千代田御茶の水ビル



CHIYODA TECHNOL CORPORATION

TEL. 03-3816-5210

ホームページURL: <http://www.c-technol.co.jp/>

千代田テクノル

検索

H501-43/07 19.04 HCG



ガラスバッジサービス

個人放射線被ばく線量測定サービス

長年の実績とお客様の声で改良を重ねた サービスの特長

- ・ 環境に優しいリサイクル体系
- ・ バラツキが少なく高い測定精度
- ・ 一体発送・一体返送方式により交換の手間を軽減
- ・ 中性子広範囲用のケースと
X線用、広範囲用のケース形状が同一サイズ
- ・ シュリンク包装で清潔・安心
- ・ フィット感がアップした薄型ケース
- ・ ラベルの印字方向は選べる3種類



ガラスバッジ



ガラスリング



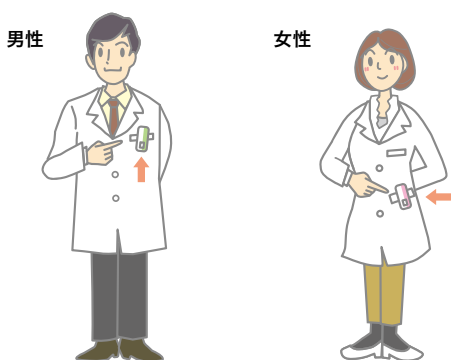
ガラスバッジ原寸大

CHIYODA TECHNOL CORPORATION

ご存じでしたか？
被ばく線量の測定は
法律で定められています

均等被ばくの場合の線量計装着部位

男性は胸部、女性は腹部に装着します。



※線量計とは、ガラスバッジ・ガラスリングを意味します。

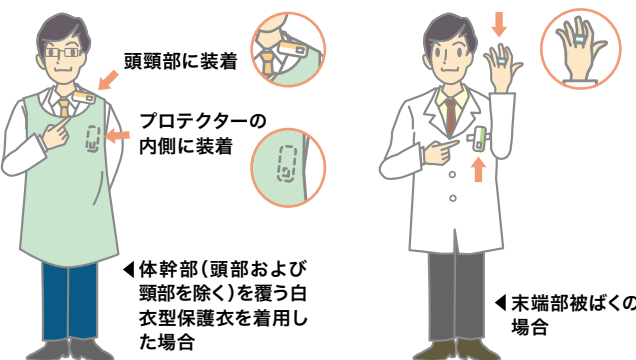
X線装置、RI等を取扱う放射線業務従事者は、個人被ばく線量の測定およびその結果の記録・保管が各種法令等により定められています。

＊放射線障害防止法(施行規則) 第4章 第20条(原子力規制委員会)

＊医療法施行規則 第30条18・第30条27および
電離放射線障害防止規則 第8条・第9条(厚生労働省)

不均等被ばくの場合の線量計装着部位

プロテクタ等を使用して不均等に放射線を受ける場合は、左の均等被ばくの場合に加え、他に被ばくする部位(頭や指等)にも装着します。



弊社のガラスバッジサービスによりお客様にお届けする
各種報告書

個人線量報告書



ご使用期間に対する各個人の実効線量および等価線量の算定値を報告します。

個人用報告書



線量計ご使用者へ報告値を通知するときに配付する個人用の報告書です。

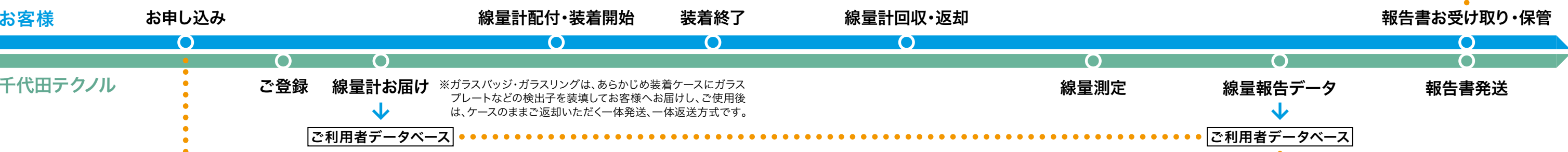
個人線量管理票



法令で定められている項目を網羅している報告書です。(通常3ヵ月毎出力)

※お客様から測定依頼をいただいた線量計は、各測定線種に対応して1cm線量当量・70μm線量当量を算出、実効線量と等価線量を算定いたします。
※ご使用者が複数の線量計を装着されたときは、線量計毎に別途報告書を作成いたします。

ガラスバッジサービスフロー



お客様の広範な用途に対応します

ガラスバッジ・ガラスリング仕様			
商品名	型式	測定線種・エネルギー範囲	測定線量範囲
X線用ガラスバッジ	FX	X線: 10 keV~80 keV	0.1 mSv~2 Sv
広範囲用ガラスバッジ	FS	X・γ線: 10 keV~10 MeV β線: 130 keV~3 MeV	0.1 mSv~10 Sv *1*2 0.1 mSv~10 Sv *2*5
中性子広範囲用ガラスバッジ	NS	X・γ線: 10 keV~10 MeV β線: 130 keV~3 MeV 中性子: 0.025 eV~15 MeV	0.1 mSv~10 Sv *1*2 0.1 mSv~10 Sv *2*5 0.1 mSv~60 mSv *2*3*4
X・γ線用ガラスリング	JQ	X・γ線: 25 keV~3 MeV	0.1 mSv~1 Sv
β線用ガラスリング	JS	β線: 1.5 MeV~3 MeV	0.2 mSv~1 Sv
広範囲用ガラスバッジ環境タイプ	ES	X・γ線: 10 keV~10 MeV β線: 130 keV~3 MeV	0.1 mSv~10 Sv *1*2 0.1 mSv~10 Sv *2*5
中性子広範囲用ガラスバッジ環境タイプ	EN	X・γ線: 10 keV~10 MeV β線: 130 keV~3 MeV 熱中性子: 0.025 eV~ 速中性子: 140 keV~15 MeV	0.1 mSv~10 Sv *1*2 0.1 mSv~10 Sv *2*5 0.1 mSv~8 mSv *6 0.1 mSv~60 mSv *4*6

*1 表示の測定線種は、¹³⁷Cs γ線に対する線量範囲です。
*2 単独照射の場合の線量範囲です。
*3 熱中性子の測定線量範囲は、8 mSvが上限となります。

*4 表示の測定線量範囲は、²⁴¹Am-Be 中性子に対する線量範囲です。
*5 ⁹⁰Sr-⁹⁰Y β線の70μm線量当量です。
*6 報告は、熱中性子と速中性子の合計です。

オプション

- オプションとして次のようなサービスを用意しております。
オプションサービスをご希望される場合は、最寄の弊社営業所へご連絡をお願いします。
- 放射線業務従事者個人管理システム「ACEGEAR NEO」
お手持ちのパソコンを利用して、弊社からご報告する個人被ばく線量の管理を行える便利なパッケージソフトです。
・ACEGEAR NEOを利用することにより、放射線管理情報を画面にて参照できます。
・健康診断・統計資料・教育記録などの記録・帳票が作成できます。
 - 速報サービス
個人線量をFAXでご報告します。
放射線予防規定などで、スクリーニングレベルを設定されているとき、放射線業務従業者の受けた線量を早く知りたいときに便利です。
 - 24時間報告
測定センターに線量計が届いてから24時間以内に個人線量をご報告します。※緊急に線量の値が必要なときにご利用ください。
 - 0.01mSv単位報告
X・γ線で有意線量を検出したとき、参考値として0.01mSv単位(0.05mSv以上)でご報告いたします。

その他

ガラスバッジWebサービス
インターネットでガラスバッジの追加登録、変更などができます。ご利用にはユーザー登録が必要です(無料)。